物流とAI（必要な量と届ける道を考える）

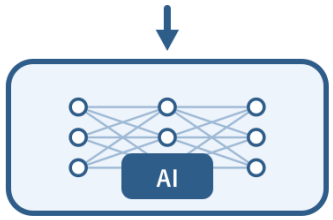
トラックで物を届ける仕事では、AIがどのように使われているのだろう

集めるデータ

注文の記録
いつ、何が、どれだけ

天気や行事
雨の日、お祭りの日など

道路の混み具合
工事や事故、時間ごとの混雑

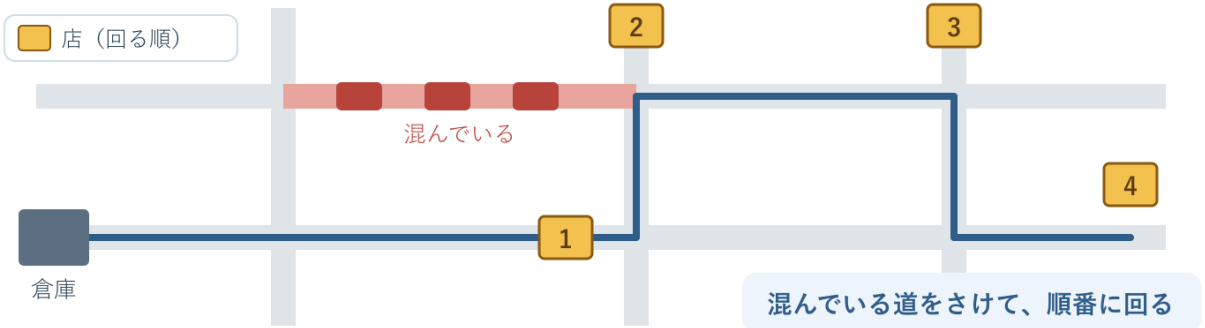


1 必要な量を予想して、倉庫にそろえる



雨の日は、かさが多く売れそう
→ 前の日に、多めにそろえておく（例）

2 店へ届ける順番と道を考える



よい点

- 売れ残りや、むだな走りを減らす
- 早く、まちがいなく届く

人の役割

- 予想や計画を確かめる。トラックで運ぶ
- 事故や大雪など、急な変化に合わせて変える

※ 模式図。地図と例は架空。会社によって、AIの使い方は違う。